

MUAMグローバル・ケイマン・トラスト

USバンクローンファンド 米ドル建

毎月分配クラス／資産形成クラス

USバンクローンファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ

毎月分配クラス／資産形成クラス

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

(愛称：スマートウェイ)

交付運用報告書

作成対象期間 第6期

(2018年11月1日～2019年10月31日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJ

インベスターサービス銀行S.A.

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、MUAMグローバル・ケイマン・トラスト(以下「ファンド」といいます。)のサブ・ファンドであるUSバンクローンファンド米ドル建およびUSバンクローンファンド豪ドル建 豪ドルヘッジ(以下、個別にまたは総称して「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第6期の決算を行いました。

サブ・ファンドの投資目的は、ピムコ・バミューダ・トラストⅡのシリーズ・トラストであるピムコ・バミューダ・バンクローン・ファンドAークラスF(USD)およびピムコ・バミューダ・バンクローン・ファンドBークラスF(AUD)(以下「フィーダー・ファンド」と総称します。)への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン(貸付債券)、公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得を目指すことです。フィーダー・ファンドは、通常、ピムコ・バミューダ・トラストⅡの独立したシリーズ・トラストであるピムコ・バミューダ・バンクローン・ファンド(M)(以下「マスター・ファンド」といいます。)にその資産の全てを実質的に投資することにより投資目的の達成を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第6期末

クラス名	1口当たり 純資産価格	純資産総額
米ドル建 毎月分配クラス (米ドル)	0.009022	49,015,117.03
米ドル建 資産形成クラス (米ドル)	0.011128	60,551,166.45
豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス (豪ドル)	0.008089	13,381,533.79
豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス (豪ドル)	0.011180	17,643,916.73

第6期

クラス名	騰落率 (%)	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 毎月分配クラス (米ドル)	2.19	0.00036
米ドル建 資産形成クラス (米ドル)	2.19	該当事項なし
豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス (豪ドル)	0.54	0.00048
豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス (豪ドル)	0.54	該当事項なし

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

(注3)会計期末の純資産総額については、費用・現金等に係る一定の調整がなされた財務書類上の数値を記載しているため、各月末の営業日の数値と異なる場合があります。以下同じです。

《運用経過》

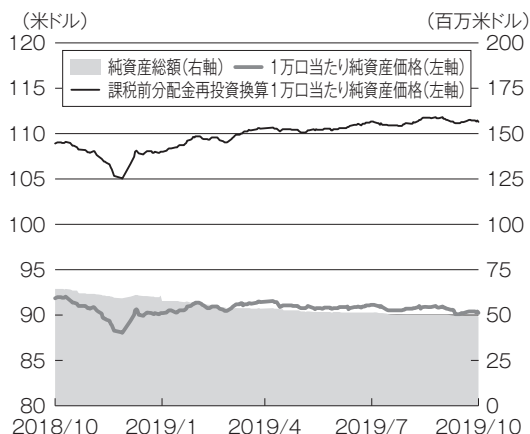
【当期の1万口当たり純資産価格等の推移について】

* 課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したもので、サブ・ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

* 課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格は、1万口当たり当初発行価格(米ドル建 毎月分配クラスおよび米ドル建 資産形成クラスは100米ドル、豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラスは100豪ドル)を起点として計算しています。米ドル建 資産形成クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラスは当期において分配を行っていないため、分配金再投資換算1万口当たり純資産価格の値は、1万口当たり純資産価格の値と同じです。

* サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

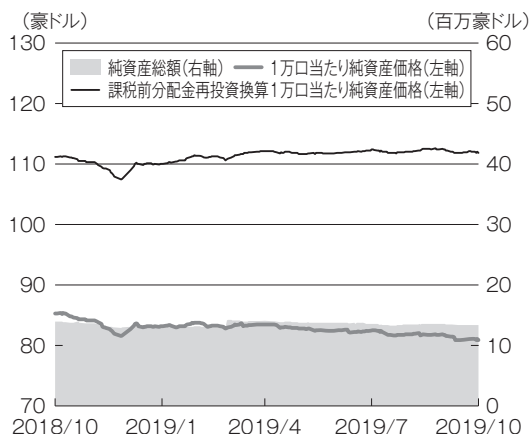
米ドル建 毎月分配クラス



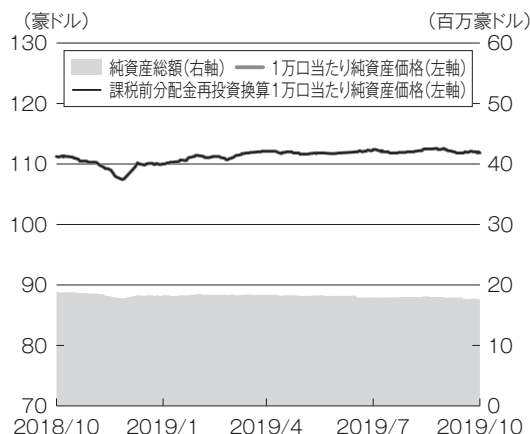
米ドル建 資産形成クラス



豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス



豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス



	第5期末の 1口当たりの 純資産価格	第6期末の 1口当たりの 純資産価格	第6期中の 1口当たり 分配金合計額	騰落率 (%)
米ドル建 毎月分配クラス (米ドル)	0.009186	0.009022	0.00036	2.19
米ドル建 資産形成クラス (米ドル)	0.010889	0.011128	該当事項なし	2.19
豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス (豪ドル)	0.008525	0.008089	0.00048	0.54
豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス (豪ドル)	0.011120	0.011180	該当事項なし	0.54

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

<各サブ・ファンド>

米ドル建てバンクローンの利子収入を享受したこと等がプラスとなり、1口当たり純資産価格は上昇しました。

【費用の明細】

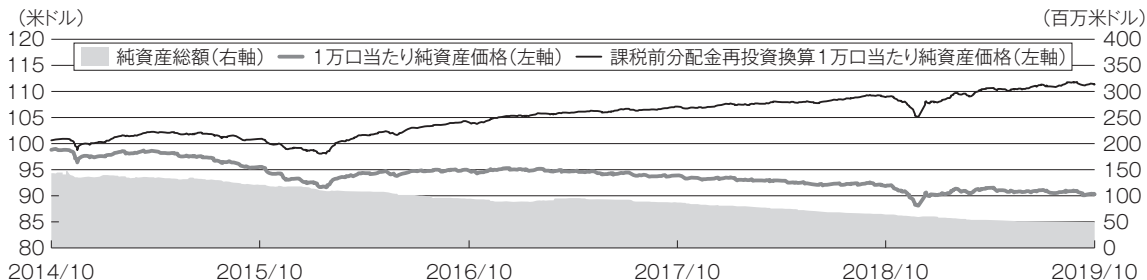
項目	項目の概要									
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.04%									
受託報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.01% (ただし、最低報酬額は、年間10,000米ドルとします。)									
管理事務代行報酬兼 名義書換事務代行報酬	<p>各サブ・ファンドの純資産総額に対して以下の年率の報酬(ただし、最低報酬額は、月間3,750米ドルとします。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>USバンクローンファンド 米ドル建/ 豪ドル建 豪ドルヘッジの純資産総額</th> <th>料率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5億米ドル/豪ドルまでの部分</td> <td>年率0.05%</td> </tr> <tr> <td>5億米ドル/豪ドルを超え 10億米ドル/豪ドルまでの部分</td> <td>年率0.04%</td> </tr> <tr> <td>10億米ドル/豪ドルを超える部分</td> <td>年率0.03%</td> </tr> </tbody> </table>		USバンクローンファンド 米ドル建/ 豪ドル建 豪ドルヘッジの純資産総額	料率	5億米ドル/豪ドルまでの部分	年率0.05%	5億米ドル/豪ドルを超え 10億米ドル/豪ドルまでの部分	年率0.04%	10億米ドル/豪ドルを超える部分	年率0.03%
USバンクローンファンド 米ドル建/ 豪ドル建 豪ドルヘッジの純資産総額	料率									
5億米ドル/豪ドルまでの部分	年率0.05%									
5億米ドル/豪ドルを超え 10億米ドル/豪ドルまでの部分	年率0.04%									
10億米ドル/豪ドルを超える部分	年率0.03%									
投資運用報酬	<p>各サブ・ファンドの純資産総額の年率1.02% (このうちの年率0.67%以内が副投資運用報酬として副投資運用会社に支払われます。)</p>									
販売報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.60%									
代行協会員報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.05%									
その他の費用(当期)	USバンクローンファンド 米ドル建	0.21%								
	USバンクローンファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ	0.34%								

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【最近5年間の1万口当たり純資産価格等の推移について】

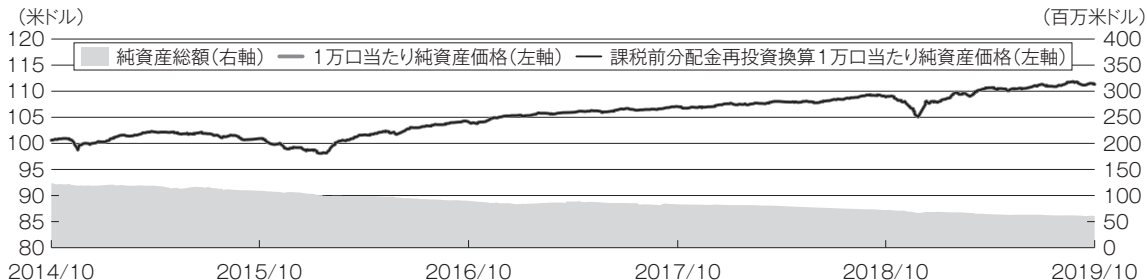
- (注1) 米ドル建 毎月分配クラスおよび米ドル建 資産形成クラスは2014年2月14日に1口当たり当初発行価格0.01米ドルで設定されました。豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラスは2014年2月14日に1口当たり当初発行価格0.01豪ドルで設定されました。
- (注2) 課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格は、1万口当たり当初発行価格(米ドル建 毎月分配クラスおよび米ドル建 資産形成クラスは100米ドル、豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラスは100豪ドル)を起点として計算しています。米ドル建 資産形成クラスおよび豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラスは設定来、分配を行っていないため、分配金再投資換算1万口当たり純資産価格の値は、1万口当たり純資産価格の値と同じです。
- (注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドル建 毎月分配クラス



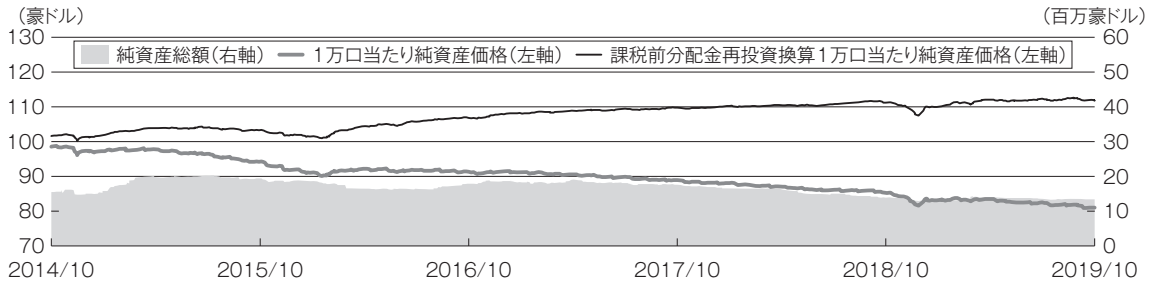
	第1期末 (2014年10月31日)	第2期末 (2015年10月31日)	第3期末 (2016年10月31日)	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.009880	0.009555	0.009483	0.009389	0.009186	0.009022
1口当たり分配金合計額(米ドル)	0.00018	0.00036	0.00036	0.00036	0.00036	0.00036
騰落率 (%)	0.60	0.34	3.12	2.85	1.71	2.19
純資産総額 (米ドル)	143,130,882.84	121,209,176.30	94,315,594.59	87,161,624.98	64,197,604.89	49,015,117.03

米ドル建 資産形成クラス



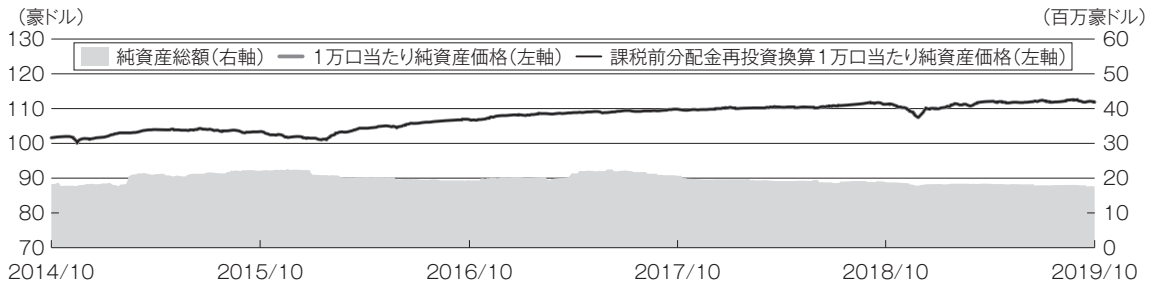
	第1期末 (2014年10月31日)	第2期末 (2015年10月31日)	第3期末 (2016年10月31日)	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.010061	0.010094	0.010410	0.010706	0.010889	0.011128
1口当たり分配金合計額(米ドル)	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし
騰落率 (%)	0.61	0.33	3.13	2.84	1.71	2.19
純資産総額 (米ドル)	123,481,750.86	108,920,328.26	89,624,160.18	83,210,517.53	71,986,166.78	60,551,166.45

豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス



	第1期末 (2014年10月31日)	第2期末 (2015年10月31日)	第3期末 (2016年10月31日)	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.009860	0.009428	0.009128	0.008890	0.008525	0.008089
1口当たり分配金合計額 (豪ドル)	0.00030	0.00060	0.00060	0.00048	0.00048	0.00048
騰落率 (%)	1.62	1.72	3.36	2.71	1.33	0.54
純資産総額 (豪ドル)	15,488,543.36	19,414,313.49	17,906,505.84	17,550,877.75	13,913,385.20	13,381,533.79

豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス



	第1期末 (2014年10月31日)	第2期末 (2015年10月31日)	第3期末 (2016年10月31日)	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.010162	0.010337	0.010684	0.010974	0.011120	0.011180
1口当たり分配金合計額 (豪ドル)	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし	該当事項なし
騰落率 (%)	1.62	1.72	3.36	2.71	1.33	0.54
純資産総額 (豪ドル)	18,292,889.77	22,120,024.80	19,373,325.89	20,687,501.46	18,788,562.53	17,643,916.73

【投資環境について】

米国バンクローン市況は上昇しました。

米中貿易摩擦に対する懸念や米国において発表された各種経済指標が軟調となったこと、米国経済に減速の前兆が見られる中において金融政策については漸進的な引き締めの方針が維持されたこと等がマイナス要因となり、米国バンクローン市況は一時的に下落する局面がありました。その後は、米金融当局が金融政策について緩和的姿勢を示したことや米雇用統計が市場予想を上回ったこと等がプラスに影響し、米国バンクローン市況は上昇しました。

【ポートフォリオについて】

<USバンクローンファンド 米ドル建>

- ・サブ・ファンドは、外国投資信託であるピムコ バミューダ バンクローン ファンド A - クラスF(USD)への投資を通じて、主として米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品に投資を行いました。

<USバンクローンファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ>

- ・サブ・ファンドは、外国投資信託であるピムコ バミューダ バンクローン ファンド B - クラスF(AUD)への投資を通じて、主として米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品に投資を行いました。

<各フィーダー・ファンド>

- ・フィーダー・ファンドは、ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)への投資を通じて、主として米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品に投資を行いました。
- ・投資先ファンドでは、長期的なファンダメンタルズに着目した慎重な銘柄選択および損失の軽減が最も重要であると考えており、強固な資本構成を有し、高い参入障壁や堅実な成長性によって事業基盤が安定している銘柄を中心に投資を行いました。
- ・景気サイクルの後期においても安定的なキャッシュフローが見込まれる食品セクター等に重点的に投資を行う一方、企業間の競争が激化している小売セクター等については投資比率を抑えました。
- ・なお、ピムコ バミューダ バンクローン ファンド B - クラスF(AUD)は、保有外貨建て資産に対し、米ドル売り、豪ドル買いの為替ヘッジを行いました。

【分配金について】

当期(2018年11月1日～2019年10月31日)の1万口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1万口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1万口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル建 毎月分配クラス

(金額:米ドル)

分配落日	1万口当たり純資産価格 ^(注1)	1万口当たり分配金額 (対1万口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1万口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2018年11月13日	91.61	0.30 (0.33%)	-0.19
2018年12月11日	89.73	0.30 (0.33%)	-1.58
2019年1月11日	90.06	0.30 (0.33%)	0.63
2019年2月12日	90.30	0.30 (0.33%)	0.54
2019年3月11日	90.75	0.30 (0.33%)	0.75
2019年4月11日	91.09	0.30 (0.33%)	0.64
2019年5月13日	90.86	0.30 (0.33%)	0.07
2019年6月11日	90.77	0.30 (0.33%)	0.21
2019年7月11日	90.67	0.30 (0.33%)	0.20
2019年8月13日	90.55	0.30 (0.33%)	0.18
2019年9月11日	90.69	0.30 (0.33%)	0.44
2019年10月11日	90.12	0.30 (0.33%)	-0.27

(注1) 当該分配落日が評価日でない場合には、当該分配落日の直後の評価日における1万口当たり純資産価格とします。下記(注2)から(注4)を含め、以下本「分配金について」において同様とします。

(注2) 「対1万口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、サブ・ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1万口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1万口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1万口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1万口当たり分配金額
以下同じです。

(注3) 「分配金を含む1万口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1万口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1万口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1万口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1万口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4) 2018年11月13日の直前の分配落日(2018年10月11日)における1万口当たり純資産価格は、92.10米ドルでした。

米ドル建 資産形成クラス

該当事項なし。

豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス

(金額：豪ドル)

分配落日	1万口当たり純資産価格	1万口当たり分配金額 (対1万口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1万口当たり 純資産価格の変動額
2018年11月13日	84.79	0.40 (0.47%)	-0.27
2018年12月11日	83.07	0.40 (0.48%)	-1.32
2019年1月11日	83.14	0.40 (0.48%)	0.47
2019年2月12日	83.03	0.40 (0.48%)	0.29
2019年3月11日	83.11	0.40 (0.48%)	0.48
2019年4月11日	83.20	0.40 (0.48%)	0.49
2019年5月13日	82.85	0.40 (0.48%)	0.05
2019年6月11日	82.52	0.40 (0.48%)	0.07
2019年7月11日	82.19	0.40 (0.48%)	0.07
2019年8月13日	81.83	0.40 (0.49%)	0.04
2019年9月11日	81.61	0.40 (0.49%)	0.18
2019年10月11日	80.93	0.40 (0.49%)	-0.28

(注)2018年11月13日の直前の分配落日(2018年10月11日)における1万口当たり純資産価格は、85.46豪ドルでした。

豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス

該当事項なし。

《今後の運用方針》

<各サブ・ファンド>

◎今後の運用方針

運用の基本方針にしたがって、引き続き外国投資信託への投資を通じて、主として米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品に投資を行います。

<各フィーダー・ファンド>

◎運用環境の見通し

- 今後数四半期にわたり、貿易摩擦や政治的不透明感の高まりを背景に世界の経済成長率はさらに減速すると見ております。一方、経済全般を下支えする財政政策と、先進国、新興国両方での更なる金融緩和を受けて、米国をはじめ世界経済は2020年後半に緩やかな回復に転じると予想していますが、引き続き慎重な姿勢で投資を行うことが重要と考えます。
- 変動利付きであるバンクローンは固定利付きの社債と比較して金利変動による影響を受け難いという特性があるため、金利リスクを抑えつつ相対的に高いインカム収入を獲得したいと考える投資家からの需要が見込まれることが同市場のサポート材料になると考えます。また、多くのバンクローンには担保が設定されデフォルト（債務不履行）時の弁済順位が高いことから、デフォルト時にはハイイールド債券と比較して回収率が相対的に高くなることも期待されます。なお、バンクローン市場のデフォルト率は低水準で推移しており、当面も急激な上昇に直面する可能性は低いと見込まれます。

◎今後の運用方針

- ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)への投資を通じて、主として米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品に投資を行います。
- 運用戦略に関しては、長期的なファンダメンタルズに着目した慎重な銘柄選択および損失の軽減が最も重要であると考えております。引き続き、強固な資本構成を有し、高い参入障壁や堅実な成長性によって事業基盤が安定している銘柄を中心に投資を行う方針です。
- なお、ピムコ バミューダ バンクローン ファンド B - クラスF(AUD)は、保有外貨建て資産に対し、原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替ヘッジを行います。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託	
信託期間	サブ・ファンドは、管理会社が受託会社と協議の上、存続期間の延長を決定しない限り、2023年10月31日に終了します。ただし、請求目論見書に定めるいずれかの方法により当該日までに終了する場合を除きます。償還金の支払いについては、償還日以降、相応の日数がかかることがあります。	
運用方針	米ドル建てのバンクローン(貸付債権)、公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。	
主要投資対象	サブ・ファンド	ピムコ バミューダ バンクローン ファンド A - クラスF (USD) ピムコ バミューダ バンクローン ファンド B - クラスF (AUD)
	フィーダー・ファンド	ピムコ バミューダ バンクローン ファンド (M)
	マスター・ファンド	米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品等
ファンドの運用方法	<p>ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。</p> <p>主として外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン、公社債等を実質的な投資を行います。</p> <p>投資する米ドル建てのバンクローン、公社債等は、原則として取得時においてCCC一格相当以上の格付けを取得しているものに限り、</p> <p>フィーダー・ファンドはマスター・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建てのバンクローン、債券およびそれらの派生商品等を実質的な投資を行い、信託財産の成長をめざします。</p> <p>USバンクローンファンド 米ドル建は実質的な為替変動リスクがないため、為替ヘッジを行いません。</p> <p>USバンクローンファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジは、米ドル売り・豪ドル買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主な投資制限	<p>各サブ・ファンドに適用される投資制限は以下のとおりです。</p> <p>(イ) サブ・ファンドについて空売りされる有価証券の時価総額は、サブ・ファンドの純資産総額を超えないものとします。</p> <p>(ロ) サブ・ファンドの純資産総額の10%を超えて、借入れを行うものではありません。ただし、合併等の特別緊急事態により一時的に、かかる10%を超える場合はこの限りではありません。</p> <p>(ハ) 管理会社の運用する証券投資信託およびミューチュアル・ファンドの全体において、一発行会社の議決権総数の50%を超えて投資を行ってはなりません。かかる制限は、他の投資信託に対する投資には適用されません。</p> <p>(注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ニ) サブ・ファンドは、私募株式、非上場株式または不動産等、流動性に欠ける資産に対しその純資産の15%を超えて投資を行いません。ただし、日本証券業協会が定める外国投資信託受益証券の選別基準(随時改訂または修正されることがあります。)(外国証券の取引に関する規則第16条)に要求されるとおり、価格の透明性を確保する方法が取られている場合はこの限りではありません。</p> <p>(注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ホ) 投資対象の購入、投資および追加の結果、サブ・ファンドの資産額の50%を超えて、日本の金融商品取引法第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行いません。</p>	

	<p>(へ) 管理会社が自己または第三者の利益を図る目的で行う取引等、受益者の保護に欠け、またはサブ・ファンドの資産の適正な運用を害するサブ・ファンドのための管理会社の取引は、すべて禁止されます。</p> <p>(ト) サブ・ファンドは、日本証券業協会により、1973年12月4日に採択された「外国証券の取引に関する規則」(改訂済)第16条第9号に従い、信用リスクを管理する方法として管理会社が定めた合理的な方法に反する取引を行わないものとします。</p> <p>サブ・ファンドの投資対象の価値の変化、再構成、合併、サブ・ファンドの資産からの支払またはサブ・ファンドの受益証券の買戻しの結果としてサブ・ファンドに適用される制限を超えた場合、管理会社は、直ちにサブ・ファンドの投資対象を売却する必要はありません。しかし、管理会社は、サブ・ファンドの受益者の利益を考慮した上で、違反が判明してから合理的な期間内にサブ・ファンドに適用ある制限を遵守するために合理的に可能な措置を講じるものとします。</p>
<p>分配方針</p>	<p>管理会社は、その裁量により、毎月分配クラスについては毎月11日(当該日が営業日でない場合は翌営業日)に、資産形成クラスについては毎年4月11日(当該日が営業日でない場合は翌営業日)に、純投資収入、純実現・未実現キャピタルゲインおよび分配可能資本から分配を宣言することができます。管理会社は、当面の間、資産形成クラスについて分配を行う予定はありません。</p> <p>分配は、分配宣言(同日を含みます。)から5営業日以内に受益者(日本においては、日本における販売会社)に対して行われます。</p>

《参考情報》

【サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

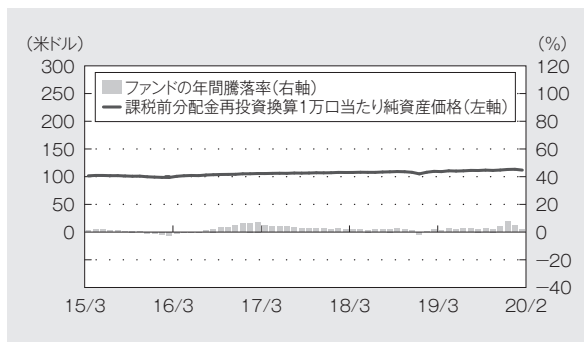
サブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2015年3月～2020年2月の5年間に於けるサブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格(各月末時点)、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです(なお、サブ・ファンドは2014年2月14日に運用を開始しました。)

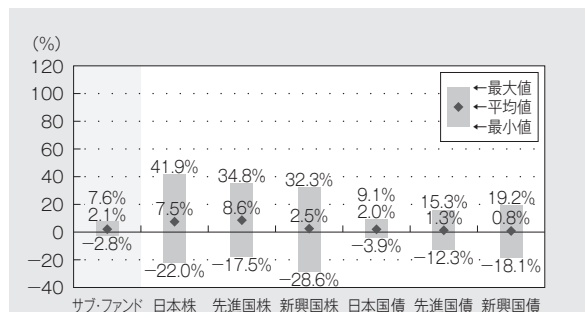
サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、サブ・ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。

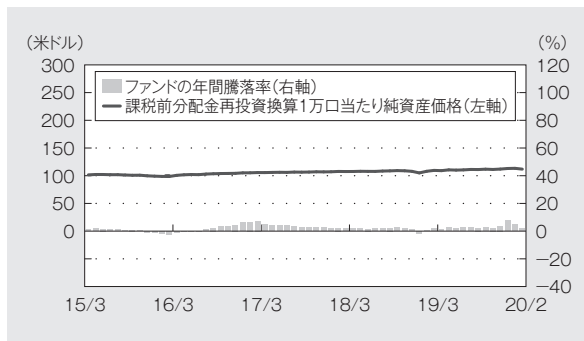
米ドル建 毎月分配クラス



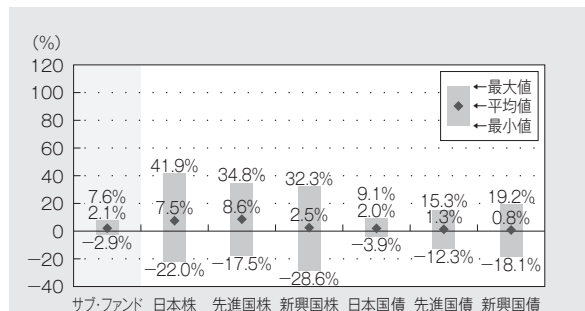
米ドル建 毎月分配クラス



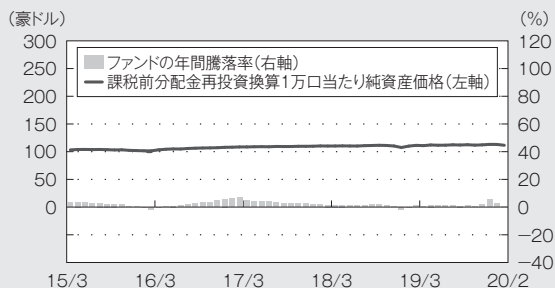
米ドル建 資産形成クラス



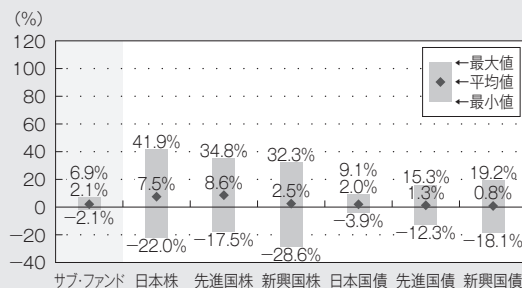
米ドル建 資産形成クラス



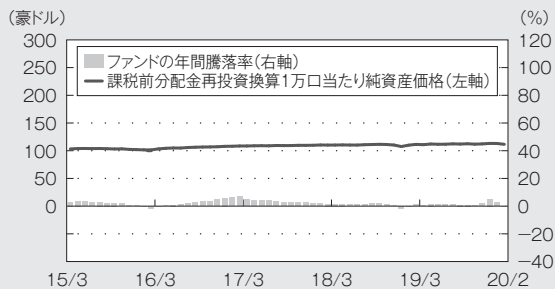
豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス



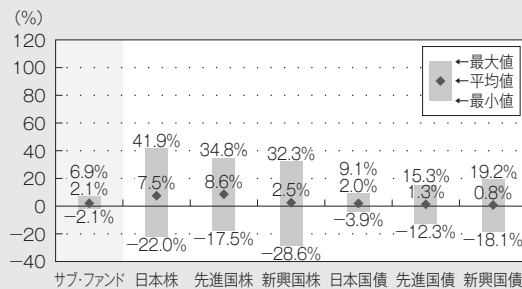
豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス



豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス



豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス



出所: Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

※課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したものです。ただし、各資産形成クラスについては分配金の支払実績はないため、課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格は各受益証券の1万口当たり純資産価格と等しくなります。

※サブ・ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。設定から1年未満の時点では算出されません。

※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

※サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

※サブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1万口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1万口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※サブ・ファンドの年間騰落率は、各受益証券の参照通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

※サブ・ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・BBGバークレイズE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、サブ・ファンドは、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、サブ・ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

《サブ・ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

(第6期末現在)

米ドル建 毎月分配クラス／米ドル建 資産形成クラス

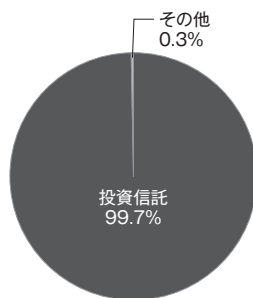
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

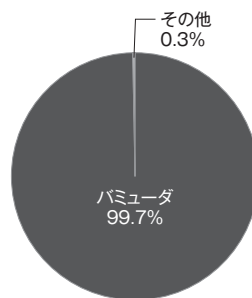
銘柄	組入比率(%)
ピムコ バミューダ バンクローン ファンドAのクラスF(USD)	99.7

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

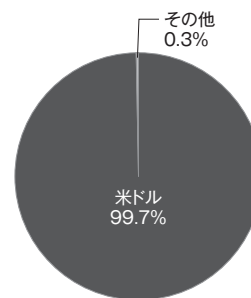
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項 目	第6期末	
	純資産総額	毎月分配クラス
	資産形成クラス	60,551,166.45米ドル
発行済口数	毎月分配クラス	5,432,683,502口
	資産形成クラス	5,441,101,813口
1口当たり純資産価格	毎月分配クラス	0.009022米ドル
	資産形成クラス	0.011128米ドル

	第6期		
	販売口数	買戻口数	発行済口数
毎月分配クラス	81,778,022 (81,778,022)	1,637,950,560 (1,637,950,560)	5,432,683,502 (5,432,683,502)
資産形成クラス	182,076,034 (182,076,034)	1,351,648,277 (1,351,648,277)	5,441,101,813 (5,441,101,813)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィダー・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)	95.49

豪ドル建 豪ドルヘッジ 毎月分配クラス／豪ドル建 豪ドルヘッジ 資産形成クラス

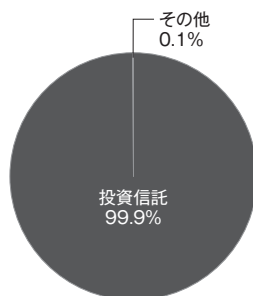
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

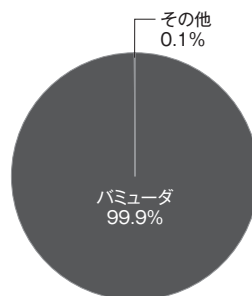
銘柄	組入比率(%)
ピムコ バミューダ バンクローン ファンドBのクラスF (AUD)	99.9

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

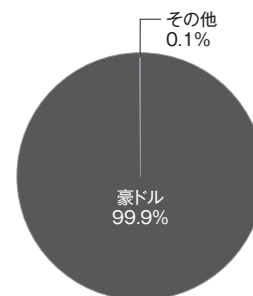
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項 目	第6期末	
	純資産総額	毎月分配クラス
	資産形成クラス	17,643,916.73豪ドル
発行済口数	毎月分配クラス	1,654,331,802口
	資産形成クラス	1,578,188,454口
1口当たり純資産価格	毎月分配クラス	0.008089豪ドル
	資産形成クラス	0.011180豪ドル

	第6期		
	販売口数	買戻口数	発行済口数
毎月分配クラス	266,668,772 (266,668,772)	244,333,450 (244,333,450)	1,654,331,802 (1,654,331,802)
資産形成クラス	14,964,130 (14,964,130)	126,355,206 (126,355,206)	1,578,188,454 (1,578,188,454)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィード・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)	88.51

[ご参考]ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)

以下は、ピムコ バミューダ バンクローン ファンド(M)の直近の計算期間(2018年11月1日～2019年10月31日)および当該計算期間末日現在の情報です。

●基準価額の推移

(2018年11月1日～2019年10月31日)



●1万口当たりの費用明細

(2018年11月1日～2019年10月31日)

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

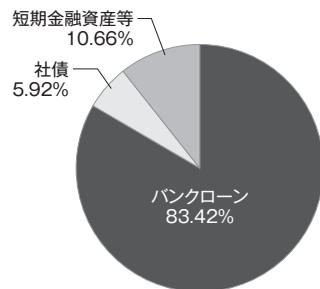
●組入上位10銘柄

(組入銘柄数：383銘柄)

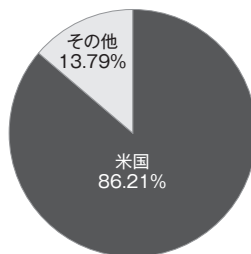
(2019年10月31日現在)

	銘柄名	種別	業種名	組入比率
1	INTELSAT JACKSON HLDG B3	バンクローン	電気通信サービス	0.93%
2	DELTA 2 LUX SARL TL B	バンクローン	消費者サービス	0.89%
3	NEXSTAR BROADCASTING INC TL B 1L	バンクローン	メディア	0.88%
4	FLEX ACQUISITION CO INC TL	バンクローン	素材	0.83%
5	DIAMOND RESORTS INTER TL B	バンクローン	消費者サービス	0.81%
6	QUIKRETE HOLDINGS INC TL B	バンクローン	素材	0.78%
7	DELL INTERNATIONAL LLC TL B 1L USD	バンクローン	テクノロジー・ハードウェア・機器	0.78%
8	SPRINT COMMUNICATIONS TL B	バンクローン	電気通信サービス	0.77%
9	PPDI (JAGUAR HLD) TL	バンクローン	ヘルスケア機器サービス	0.77%
10	TEMPO ACQUISITION LLC TL B	バンクローン	テクノロジー・ハードウェア・機器	0.76%

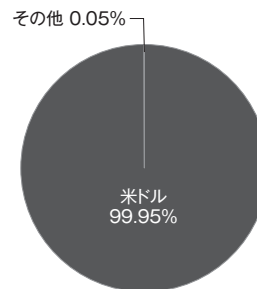
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率はマスター・ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 (注2) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。